

製品名: リン酸化 MSK1 (Ser376) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02277**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KA5 RPS6KA5; MSK1; Ribosomal protein S6 kinase alpha-5; S6K-alpha-5; 90 kDa ribosomal
別名	protein S6 kinase 5; Nuclear mitogen- and stress-activated protein kinase 1; RSK-like protein kinase; RSKL
遺伝子 ID	9252
SwissProt ID	O75582
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

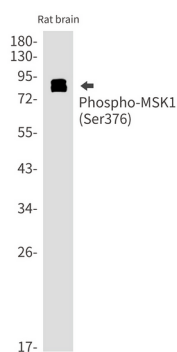
背景

セリン/スレオニンタンパク質キナーゼは、転写因子 CREB1 および ATF1 のマイトジェンまたはストレス誘導性リン酸化、ならびに転写因子 RELA、STAT3、および ETV1/ER81 の調節に必須であり、ヒストンリン酸化による遺伝子活性化に寄与し、炎症性遺伝子の調節に機能する。UV-C 照射、上皮成長因子 (EGF)、アニソマイシンなどのマイトジェンまたはストレス刺激にตอบสนองして、CREB1 および ATF1 をリン酸化します。

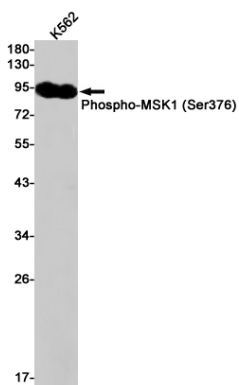
研究分野

シグナル伝達

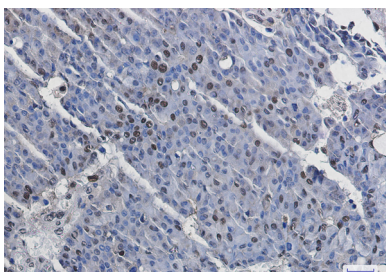
画像データ



ホスホ-MSK1 (Ser376) 抗体を用いたラット脳溶解物中のホスホ-MSK1 (Ser376) のウエスタンブロット分析。



Phospho-MSK1 (Ser376) 抗体を使用した K562 溶解物中の Phospho-MSK1 (Ser376) のウエスタンブロット分析。



MSK1 (リン酸化 Ser376) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。